



頑張ってるお母さん、忙しいお父さんに代わって

病気のお子さんを保育します



～串間市病児保育センター～

1 知って安心 その 1 こんな設備があります

定員は3人なので、部屋も3室準備しています。急性期の子ども用の隔離室が1室と、比較的病状が安定して回復期にある子ども用の静養室が2室です。静養室は扉を開ければ広く1室としても使え、子どもの病状を見ながらの柔軟な対応が可能です。また、どんな症状にも対応できるようぜんそくのための吸入器や痰の吸引器も備えています。



2 知って安心 その 2 子どもの安全を第一に

隔離室には24時間抗菌対応のプラズマクラスターイオン発生器を完備しています。センターは自宅とは違い、毎日利用者が変わります。次に預かる子どもを守るため、職員用のシャワー室も備えるなど、感染症対策には万全を期しています。

隔離室・静養室はともに転倒に備えた低反発マットを敷き、事務室に面するよう設計も変更。常に職員が目が行き届くようにしています。また雨天時には病気の子どもを雨に濡らすことのないよう、玄関に屋根付きの車寄せを設けています。



3 知って安心 その 3 快適に過ごせる工夫も

病気の子どもは睡眠が取れていないことが多いので、ゆっくり休んでもらえるよう環境を整えています。寝付きやすく、また熟睡できるよう隔離室にはシャッターを設置。またベッドも乳幼児から小学生まで充分に対応できるよう、体格別に3種類を用意しています。お手洗いは子ども用と職員用はもちろん別にし、子ども用は病状に応じて使い分けられるよう2カ所に設置。また、男の子用と女の子用を別に設けています。



4 知って安心 その 4 医師との連携強化でしっかり看病

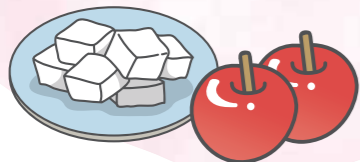
当センターでは病気の急性期にある子どもを看病するため、看護師の職員はセンター指導医である小児科医のもとで1カ月半の研修を行いました。連携が深まり、互いに話がしやすい環境になりました。

看護師がさまざまな病状の子どもを看することで、大きな気づきを得ました。それは「子どもの容体は急変する」ということ。安定しているように見えても、いつどのように変化するか分からないということを常に心に留め、注意深く子どもを見守ります。そして、医師と連絡を取りながらしっかりと看病します。



5 知って安心 その 5 食事は遠慮なくご相談を

当センターでは画一的な給食の提供をしていません。なぜなら、病気の際は消化能力も食欲も落ちるからです。だからといってお弁当のような手のかかるものを用意する必要はありません。体調の負担を考え、そのときに子どもが食べられるものを持ってきてください。例えば、とうふやうどん、りんごやヨーグルトなども十分です。食材を持参すれば、子どもの体調に応じた調理をして提供します。とにかく、遠慮なくご相談ください。



6 知って安心 その 6 すべての子どものために

当センターは串間市に住むすべての子どものためにあります。子をもつすべての親御さんが安心して働けるよう支援していきたいと思っています。

また、センターの職員3人はすべて子育て経験者。預ける保護者の気持ちが十分に理解できます。それでも、保護者の方にとっては心配もあることでしょう。一度ぜひ、どんな施設なのか見学にいらしてください。職員一同お待ちしております。



病児・病後児保育施設は、緊急時に病気のお子さんを一時的に保育する機関です。

今年度、市内2カ所に病児・病後児の保育施設が誕生しました。

今年度開所した2つの施設を今月・来月と2カ月連載で皆さんに詳しくご紹介。今回は串間市病児保育センターに密着。知って安心の情報満載でお届けします。

*来月はチャイルドケアさくらをご紹介します。



安心してご利用下さい。



串間市病児保育センター 所長 宮本康英さん

数年前、子どもの看病で仕事を長く休み「クビになるかも…」と小児科で泣いていたお母さんがいました。そういった状況の人を1人でも助けたいとかねてから思っていました。病児保育は、市民の安心・安全を守る消防や警察と同じくらい重要だと思っています。安心して駆け込んでほしいですね。働く皆さんの悩みを1つでも解消できればと思っています。

- 定員=3名(急性期～回復期)
- 料金=1,500円(1日)
- 職員=看護師2名・保育士1名
- 事業費=8,307,000円(市の委託事業)
- 問い合わせ先=☎71-1577